

５ パスワードの重要性

指導項目の分類

セキュリティに関すること

対象・教科等

小学校（低学年） 道徳、生活、特別活動など

指導のねらい

- （１）ＩＤやパスワードの意味と重要性について理解させる。
- （２）ＩＤやパスワードを他人に「教えない」ことや何かに「書かない」ことなど、適切な管理方法について理解させる。

指導の手引

- ・コンピュータを利用する上で、ＩＤとパスワードは「自分だけの鍵」の役割を果たし、「自分だけの鍵」が他人に悪用された場合、大切なものを盗まれたり、壊されたりすることや、自分になりすまして好き勝手なことをされてしまう危険性がある。
- ・自分の「家」と「鍵」といった具体的にイメージできる事例を用いて指導する。
- ・パスワードの漏えいを防ぐためには、
 - （１）パスワードは他人に分かりにくいものを設定する。
（生年月日や名前など類推しやすいものは避ける。）
 - （２）一定期間で、こまめに変える。
 - （３）紙にかいたり、人に教えたりしない。
- ・他人のパスワードを見つけたり拾ったりした場合は、パスワードの所有者に早く知らせ、別のパスワードに更新させる。

展開例	
学習活動	指導上の留意点
1 本時の学習のめあてを知る 2 ワークシートの事例を読む 3 思ったことを書いてみる 4 友達やグループで「パスワードをまもる方法」について話し合う 5 意見をまとめて数人が発表する 6 自分の感想や意見を書く 7 本時の学習をまとめる 8 自己評価をおこなう	(Web ページを使った体験的な学習活動を取り入れる場合は、2 と 3 の部分を活動にあてる。) ・ パスワードの働きを「鍵」などの身近なものからイメージさせる。 ・ パスワードの正しい設定方法や取扱方法について具体的に示す。 紙などに書かない 人に教えない 人のものを見ない

発展的な学習
・ 他人のＩＤとパスワードを使うことは、「不正アクセス禁止法」で禁止されていることを理解させる。

関連項目
「不正アクセス禁止法」、「なりすまし」